

はるひ野町内会の皆様

アライグマに係る情報提供のお願い

平成29年8月に、黒川よこみね緑地内にてアライグマの足跡が発見されました。

アライグマは本来、北アメリカに生息している野生動物です。日本では、ペット等として輸入され、飼われているものが逃げたり、捨てられたりして野生化しました。

神奈川県及び川崎市内では、野生化したアライグマによる農作物への食害や、人家へ侵入して天井裏を糞尿で汚す、庭で飼っている金魚などを捕食する等の生活被害が発生しています。

こうした被害及び生態系への影響に対し、神奈川県では「アライグマ防除実施計画」が策定されています。

つきましては、町内の皆様からの目撃情報の収集等のご協力をお願いしたいと思います。

アライグマを目撃されましたら、下記までご連絡下さい。
よろしくお願い致します。

かわさきしどうぶつあいご
川崎市動物愛護センター

受付時間 平日 8:30~17:15

電話：044-766-2237

FAX：044-798-2743

***アライグマを目撃しても、追いかけたり触ったりしないでください！！**

***アライグマの特徴につきましては、裏面をご参考下さい。**

川崎市動物愛護センター

住所：高津区蟹ヶ谷119

電話：044-766-2237

ファクス：044-798-2743

平成29年8月作成

アライグマは「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）」で指定された特定外来生物であり、放獣、飼育、輸入、運搬、保管、販売することが禁止されています。

※以下、環境省 九州地方環境事務所 野生生物課発行資料より抜粋

アライグマの特徴

頭から尻尾のつけ根までの長さ：41～60cm
尻尾の長さ：20～41cm
体重：4～10kg

耳が大きく、白い縁どりがある。

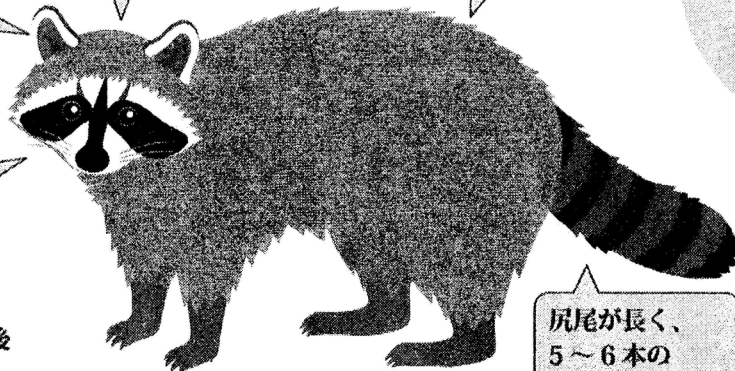
顔つきはタヌキやアナグマに似ている。

体の色は灰色に近く、タヌキよりも白っぽい。

鼻すじに黒い線がある。



足あとは、人間のこどもと似ている。



尻尾が長く、5～6本のしま模様がある。

似ている動物たち

タヌキ



タヌキの尻尾には模様がない。

アナグマ



アナグマは尻尾が短くずんぐりとした体形をしている。

見分けられるかな？

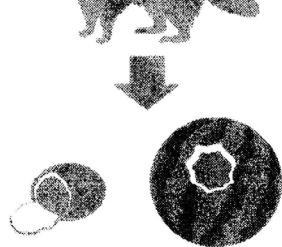
どんなところに住んでいるの？

森林の水辺を好み、田んぼや畑、市街地の周辺に出没します。特にため池に水が流れ込むような所、林の中の湿地や溪流などで多く目撃されています。夜行性で昼間は暗い所に隠れています。

何を食べてるの？

雑食性でエビ・カニ・魚・カエル・サンショウウオ・ヤゴなどの水中の生物、トカゲ・ネズミ・鳥のヒナや卵・バッタなどの陸上の生物、ミカン・スイカ・カキなどの果実や種子、家畜のえさ、残飯など何でも食べます。

農作物への被害



ミカンは皮をむき、スイカは穴を開けて中身だけを食べるのがアライグマの食べ方の特徴です。

生活への被害

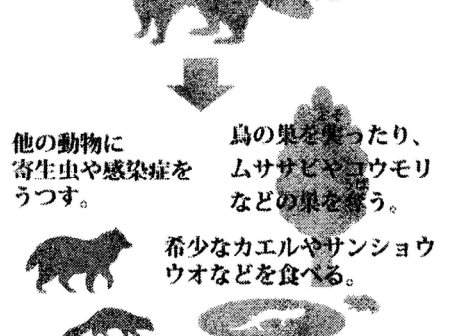


人に感染症をうつすこともあります。

家屋に侵入

ゴミを荒らす

生態系への被害



他の動物に寄生虫や感染症をうつす。

鳥の果を食ったり、ムササビやコウモリなどの果を食う。

希少なカエルやサンショウウオなどを食べる。